

## 日本学研究と日本語教育との 連携:ポーランドの場合



国際交流基金  
元ポーランド派遣日本語教育専門家  
菅生 早千江 2010.1.26

## ポーランド



2

### ポーランド 基礎データ



面積: 日本の4/5  
\*東西・南北に約600km  
\*列車で....  
ワルシャワ-クラクフ 3時間  
ワルシャワ-グダンスク 4時間半

人口: 約4000万人  
95%=ポーランド人  
言語: ポーランド語  
宗教: 90%=カトリック

3

### ポーランドといえば

ショパン




キュリー夫人




4

### ポーランドといえば

「連帯」  
ワレサ議長  
のち 大統領




5

### ポーランドといえば

#### 第二次大戦の戦禍

1947

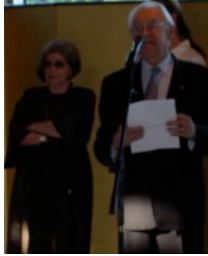




6

## ポーランドといえば

映画  
アンジェイワイダ監督



7

## ポーランドといえば

カトリック国  
ヨハネ・パウロ二世



8

## ポーランドといえば

演劇

### コルチャック先生

子ども達の未来を懸命に考えた  
ヤヌシュ・コルチャックの史実ストーリー  
—いまから約50年前実際にあったお話です。—

加藤剛主演  
「コルチャック  
先生」



9

## ポーランドといえば

ポスター  
ワルシャワ国際  
ポスタービエンナーレ  
(1966～)



世界で最も権威ある  
ポスターコンクール

10

## ポーランドに興味がある方のための 参考ウェブサイト

- 東京外国語大学 ポーランド語学科
- 岡山大学 田口先生「ポーランド情報館」  
- メーリングリスト  
「フォーラム・ポーランド」



11

日本との関係 “伝統的に良好” “親日的”  
(外務省HP)



1919年 国交樹立

1957年 国交回復  
1978年 科学技術協力協定・  
文化教育交流取極  
→ ポーランド・日本協会発足  
1990年 海部総理大臣の  
ポーランド訪問



ポーランド・日本  
国交樹立90周年  
1919-2009

1993年 JICA ・JOCV隊員派遣  
開始

ポーランド国旗と  
様をアレンジした  
記念事業ロゴ

12

## “伝統的に良好” “親日的”な理由 「国際関係・政治」「文化」

国際関係・政治に関わる理由

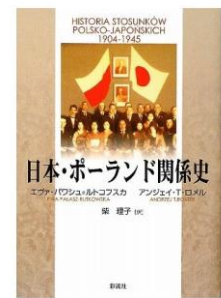
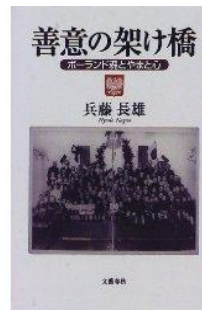
日露戦争での快進撃

1920年(大正9年)

「シベリアに残されたポーランド人孤児」  
日本赤十字が受け入れ本国に移送

1981年 ワレサ議長来日 スローガン  
「ポーランドを 第二の日本にしよう」

13



14

## 2003年12月TV放映「ワルシャワの秋」



15

## “伝統的に良好” “親日的”な理由

文化的関心に関わる理由

19世紀のジャポニズム フランス→ドイツ→ポーランド  
浮世絵等日本美術収集家

民俗学的関心  
シベリア抑留中の研究者によるアイヌ研究

1919年 ワルシャワ大学日本語講座

日本文学の翻訳出版

黒沢映画

TVアニメーション

16

(ご紹介 1)

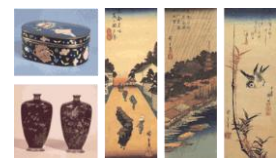
「百人一首」1913年、クラクフ刊行(左)

「日本文学」1908年、ワルシャワ刊行(右)



17

(ご紹介2) 日本美術収集家ヤシエンスキーと  
日本美術技術センター(“マンガセンター”)コレクション



↑“マンガセンター”HPより

←国交回復50周年記念展示パネル  
より

18

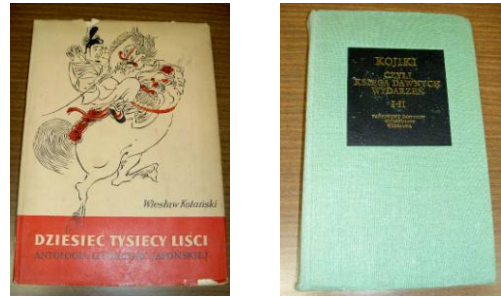
(ご紹介3) 民俗学者 ピウスツキ  
によるアイヌ民族研究



国交回復50周年記念展示パネルより

19

(ご紹介 2)  
「万葉集」1961年 (左) 「古事記」 (右)  
コタンスキ・ワルシャワ大学教授翻訳



東京外国語大学ポーランド語学科 関口時正教授より

20

(ご紹介 3)  
谷崎潤一郎「二人の稚児」1971年 メラノヴィッチ・ワルシャワ大学・  
ヤギェウォ大学教授翻訳 (左)  
村上春樹「海辺のカフカ」(英語から翻訳)(右)



東京外国語大学ポーランド語学科 関口時正教授より

21

(ご紹介4) 雑誌「Kawaii」



22

日本との関係 近年の企業進出

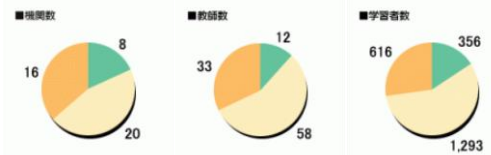
日系企業の進出が続いている  
2008年 230社 製造業中心

ポーランド在住邦人  
2008年 1200人

23

ポーランドにおける日本語教育  
学習者数 (国際交流基金調査)

●2006年海外日本語教育機関調査結果



■初・中等教育 ■**高等教育** ■学校教育以外

大学で学ぶ  
学習者数が多い  
逆ピラミッド型

24

## ポーランドにおける日本語教育 教育制度と外国語教育

年齢

大学		大学: 1~3ヶ国語を選択
高等学校	18	大学入学資格試験(マトウーラ)
	16	
中学校	15	
	13	
小学校	12	日本語は選択可能な外国語科目ではない
	6	

25

## ポーランドにおける日本語教育 大学における日本語教育



### 日本語専攻

1919  
ワルシャワ大学で  
日本語講座開講

1987  
ポズナニの  
アダムミツキエヴィツチ大学  
クラクフの  
ヤギェロン大学  
日本語専攻(学部:3年間)

2007  
トルン コペルニクス大学

外国語選択科目として日本語  
講座を開講  
グダンスク大学ほか20数校

26

## 日本語専攻の例 ヤギェロン大学 日本学科 (文献学部 東洋学研究所 日本中国学科)



27

## 日本語専攻の例 日本学科カリキュラム



- 1年生  
「ラテン語」「英語」「文法講義」「文法演習」  
「日本地理」「日本文化」「東アジア文明」  
「漢字」2コマ  
「会話」日本人講師3コマ、ポーランド人講師2コマ
- 2年生  
「文法講義」「文法演習」  
「日本現代文学講義」「東アジア文明・日本史」  
「卒業論文演習入門」  
「漢字」2コマ  
「会話」日本人講師3コマ、ポーランド人講師2コマ



- 3年生  
「文語」「翻訳」「日本古典文学講義」  
「日本古典文学演習」「中国文学」「中国語」2コマ  
「卒業論文演習」  
「漢字」2コマ 「会話」日本人講師3(2)コマ、  
ポーランド人講師2コマ
- 4年生  
「日本文学演習」「文学ゼミ」(5年生と合同授業)  
「翻訳」「中国語」2コマ、「卒業論文演習」(5年生と合同授業)  
「漢字」「会話」日本人講師4コマ
- 5年生  
「日本哲学・宗教」「文学ゼミ」「卒業論文演習」  
「会話」2コマ



28

## 日本語専攻の例 「会話演習」使用教材

- |                             |                                    |
|-----------------------------|------------------------------------|
| (主教材)                       | (副教材等)                             |
| 『初級日本語』<br>(東京外国語大学留日センター)  | 『わくわく文法リスニング』                      |
| 『中級日本語』<br>(東京外国語大学留日センター)  | 『2級マスター完全文法』<br>(スリーエーネットワーク)      |
| 『上級日本語読解』(アルク)              | * 漢字                               |
| 『テーマ別上級で学ぶ日本語』<br>(研究社)     | 『Basic Kanji Book』Vol 1,2<br>(凡人社) |
| 『上級で学ぶ日本語』<br>ワークブック(研究社)   | 『Kanji in Context』<br>(ジャパンタイムス)   |
| 『留学生のための現代日本語』<br>読解』(リサーチ) | 『Kanji 1000 Plus』(凡人社)             |

30



### 平成21年(2009)第4回コンソーシアム ボン大学奥村 先生のご発表

- ・「なぜ日本語を学ぶのか—ドイツの現状・課題・展望—」  
(ボン大学東洋アジア学研究所日本語科)
- ・大学における日本語教育  
専門研究を視野にいれたCanDo 記述として  
「アカデミックCanDo」を

37

### 奥村(2009)の「アカデミックCan do」

- ・言語教育と専門研究とをつなぐ懸け橋として、  
将来的に日本語教育と日本学の両者が相互的かつスパイラルに教育を行うことを可能にするものと考えられる。
- ・テーマ性の高いコミュニケーションの場

38

### ポーランドでの 協定校からの働きかけによる 日本学・日本語教育の連携の可能性

- ・遠隔授業
- ・テーマ性の高いコミュニケーションの場  
とするために単発のイベントに終わらせない。
- ・カリキュラムの中に位置づける。  
↑その機会に向けた準備に  
「アカデミックCan do」の考え方を生かせる

39

### 遠隔授業の案(思いつくままに)

- 「講義および講義に基づいた質疑応答」であっても...
- ・講義は日ポ両方の学生が聞く。
  - ・当日の参考資料を前もって日ポ両方で読んでおく。
  - ・質問したい点や論点を整理しておく。  
(意見述べ、質問切り出し等の表現も練習する)
- 遠隔授業当日は、
- ・ポ側も十分に準備した状態で日側の学生と同じ資料をもとに講義を聞く。
  - ・場当たりのでないディスカッション、講義への質問が可能となる。

40

### 遠隔授業の案(思いつくままに)

- ・日ポ双方の学生がレポーターを担当する輪読会
- ・レジュメをまとめる。
- ・時間内に要点を押さえた発表を行う。
- ・補足のリサーチを行う。
- ・質問紙/インタビュー調査、パイロット調査の場とする。
- ・質問項目の妥当性を考える

専門に関わる知識を得る  
日本語を用いた、テーマ性の高い  
コミュニケーションを実現する  
アカデミック Can do<sup>41</sup>

### 海外の日本語学習者や日本の留学生が めざす目標 (森山2009)

- ・ 第一に日本語・日本文化を学び・理解することである。コミュニケーションに介在する文化、個としての文化はこのような交流でしか学ぶことはできない。
- ・ 第二に、多言語・多文化への挑戦である。
- ・ 第三に、協働作業を通じ、グローバル化時代に必要な社会性を育成することで、この点も日本人学生と同様である。
- ・ 第四に日本語と日本文化を同時に学ぶための動機を高める場である。

42

## 参考文献

- 大島 弘子 (2009)「フランスにおける日本語教育と日本学」第4回国際日本学  
コンソーシアム予稿集
- 奥村 三葉子(2009)「なぜ日本語を学ぶのか—ドイツの現状・課題・展望—」  
第4回国際日本学コンソーシアム予稿集
- 国際交流基金ウェブサイト 「世界の日本語教育の現場から—  
ポーランド、2008年」
- 菅生早千江 (2006)「ポーランドにおける日本語教育事情—ポーランド  
日本語教師会・組織づくりの実践を中心として—」『言語文化と  
日本語教育』32号 お茶の水女子大学言語文化研究会 39-48.
- 菅生早千江(2006)「ポーランド日本語教育事情—現在に生きる日本への  
関心の伝統—」『AJALT』29号 社団法人国際日本語普及協会 64-68.
- 森山新(2009) Holistic Education of Japanese Language in the Global Era.  
2009年11月17日ヴァッサー大学ワークショップ講演

43

## ありがとうございました



sachie\_s2004@yahoo.co.jp

44